

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	介護保険被保険者の資格管理及び保険料の賦課・徴収業務	2-39
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	保健福祉部高齢者支援課	直通電話	0133-72-6121
担当部長	鎌田 英暢	担当課長	沢田 茂明
		担当者	笹本 和義

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	・石狩市内に住所を有する65歳以上の人(第1号被保険者)の介護保険資格の取得・喪失の管理 ・被保険者に対する介護保険料の賦課及び収納管理		
(2)事業開始年度	平成12年度	(3)事業終了年度	永続
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2.健康でしあわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	その他	
	施策コード	20204	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	介護保険制度の運営に必要な情報管理と保険料の確保。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	被保険者情報の正確さの保持と、介護保険料が適正に収納されること。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	住民情報システムとの連携により住民登録状況を適正に反映させる。 年金受給者の保険料は年金天引きにより徴収し、受給の無い人や天引きできない人は納付書、口座振替にて徴収する。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	介護保険法に基づき、全国で同様の事務が行われている。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	介護保険事業計画等作成委員会において、保険料改定について答申を受ける予定。

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	3,550	3,658	4,084	4,686
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	17,264	16,570	17,942	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	20,814	20,228	22,026	
事務に従事した正職員延べ人数	2.00	2.00	2.00	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収入	区分	H17	H18	H19	H20予算	支出	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
	計(B)	0	0	0	0		計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
介護保険第1号被保険者(人)	目標値	11,459	11,900	12,377	12,899
	実績値	11,653	12,159	12,679	
	達成率	101.7	102.2	102.4	
介護保険料収納額・現年分(円) (目標値は調定額)	目標値	476,871	569,023	603,361	616,995
	実績値	469,306	561,165	594,810	
	達成率	98.4	98.6	98.6	
介護保険料収納額・滞納分(円)	目標値	14,822	16,265	17,941	19,050
	実績値	1,763	2,495	3,682	
	達成率	11.9	15.3	20.5	

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
介護保険料収納・現年分(率) (目標は介護保険計画における計画値)	目標値	98.6	98.4	98.4	98.4
	実績値	98.4	98.6	98.6	
	達成率	99.8	100.2	100.2	
介護保険料収納・滞納分(率)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	11.9	15.3	20.5	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	1	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに 関連があるか
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1	イ 成果 事業の成果は目標を達成している か
(2) 効率性			ウ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、今 の事業内容は適当か
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	
(3) 公平性			(1)~(4)の評価ポイント合計
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1	総合評価の参考にしてください。
			7~11 A or B
			12~15 B or C
			16~21 D or E
			11

8 課長評価		担当課長が評価します。		
(1) 平成19年度事業の総合評価		介護保険被保険者の資格管理及び賦課業務については適切に実施しており、保険料収納率については向上している。		
B	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)			
(2) 今後の方向性・課題		超高齢社会の中において、高齢者は増加の一途となり、資格の管理、保険料賦課、収納管理の事務はますます複雑化するため、体制を強化しながら継続していく。		
(3) 平成21年度の方向性				
*:担当課長	事業内容		今後予想される高齢者増に対応するため、体制を強化し事業を継続する。	
	現状維持	一部見直し		大幅見直し
事業規模	拡大方向	*		
	現状維持			
	縮小方向			
	統合			
	休・廃止			

ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。		
(1) 平成19年度事業の総合評価		介護保険制度上の事務手続き、介護保険料の徴収を実施している。		
C	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)			
(2) 今後の方向性・課題		高齢者の増加に伴う介護保険事務(資格の管理、保険料賦課、収納管理など)量の増加や制度改正に伴う複雑化に対応できる体制の強化が必要。		
(3) 平成21年度の方向性				
:担当部長 (もしくは市長)	事業内容		人員を増加し体制を強化する。	
	現状維持	一部見直し		大幅見直し
事業規模	拡大方向			
	現状維持			
	縮小方向			
	統合			
	休・廃止			